

2023 年度 法人事業報告

1 法人議決機関等の運営について

理事会は5回、評議員会は2回開催し、役員の変更と選任、事業報告、決算報告、事業計画、予算について討議するとともに、各規程の改正などについて提案し、審議いただきました。法人全体の経営、運営体制は概ね順調に推移してきましたが、さらなる安定的な運営に向け引き続き充実を目指してまいります。

【開催の経過】

(1) 理事会・評議員会

| | | |
|--------|--------|------------------------|
| 第1回理事会 | 6月2日 | 事業報告、決算報告、今人の移転 |
| 第2回理事会 | 6月23日 | 理事長選任 |
| 第3回理事会 | 9月16日 | 事業進捗報告、給与規程改正 |
| 第4回理事会 | 11月17日 | 予算の考え方、次年度事業の方向性、今人の移転 |
| 第5回理事会 | 3月2日 | 予算案、事業計画案、諸規程の改正 |
| 定時評議員会 | 6月23日 | 事業報告、決算報告、役員改選、今人の移転 |
| 臨時評議員会 | 3月22日 | 予算案、事業計画案、諸規程の改正 |

(2) 他定款に基づく会議等

| | | |
|-------------|-------|---------------|
| 監事監査 | 5月22日 | 決算及び事業についての監査 |
| 評議員選任・解任委員会 | 3月13日 | 評議員候補者の選任議決 |

2 法人内管理運営体制について

理事三役会議、管理者会議、GH常勤会議を月1回、日中管理者会議、法人事務会議を適宜開催し、事業計画、報告、人事、決算、予算、支援内容、職務体制、人材確保の問題、事業所の管理運営など話し合いました。常勤業務執行理事は、日中事業所管理者に退職者があった関係で、年度当初からトロワランド管理者と兼務となりましたが、事務局職員を1名増員するなど法人運営の安定化を進めていきました。

横浜市健康福祉局による、9月に法人運営の監査、10月にトロワランドの実地指導があり、指摘を受けた件について、理事会で報告するとともに改善を進めました。併せて法人内部相互監査を実施しました。

3 役員体制及び事業所人事体制

2023年度は、理事、監事の変更の年でしたが、全員が留任となり、引き続いて課題対応に当たることとなりました。また、3月に2名の評議員の退任にともない欠員補充を行うとともに定員を1名増やし8人体制とし、事業評価及びチェック機能の強化・充実を図りました。職場体制では、サービス管理責任者、資格取得と職員育成を念頭において有資格者の派遣研修への参加などを進めてきました。

全体の職員体制では、日中事業所は特に勤続5年以下が多くを占め、特に支援業務について、スキルアップを目指すことが必要であり、目標共有による業務管理やOJTの推進、様々な研修機会の提供が必要となっており、次年度実施への準備を進めました。

4 主な業務報告

(1) 各事業体報告は別添

(2) グループホームの移転

課題となっていた今人の移転については、前年度末に業者から紹介があった物件（保土ヶ谷区峰沢町）について立地等のリサーチと基本設計についての協議をしていく中、利用者・保護者・関係者と調整を進め、所要経費・契約内容等を理事会・評議員会で報告・承認をいただきました。建設も順調に進み、12月2日に移転することができました。

(3) 新型コロナウイルス感染症の対応

5月に5類感染症となりましたが、引き続きマスク着用、手洗い、うがい、換気など基本的な対策の他、抗原検査キットによる検査、自宅待機など感染が広がらないための対策を継続しました。8月9月及び3月に利用者・職員の感染者が一定数発生しましたが、幸い重症者は出ませんでした。運営体制の整備を進めていく必要性を共有しました。

(4) 規程の改正

経理規程については、一部実態と整合性が取れない部分があり、また、ボランティア規程についても時勢に適ったものに改正し、法的体制を構築していきました。

(5) きょうされん映画「星に語りて」の上映

8月に、東日本大震災時の障害のある人の状況と、支援者の活動を描いた上記映画会を横浜ラポールにて開催し、利用者・職員・家族の参加を得、災害時への備え、行動について思いを馳せる機会としました。

5 利用者、保護者、家族及び地域社会から信頼される運営

(1) 利用者・保護者・家族

保護者への事業所などでの状況についてタイムリーな情報提供を念頭に置き、支援への意思疎通を図っていきました。今後法人化20周年記念事業などを通じて、交流の機会を持っていきます。

(2) 地域との交流活動

地域においては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた行事は、ほぼ以前の状況まで復活し、地域の一員としての施設であることに鑑み、馬車道まつり、三ツ沢納涼祭、区民まつりなど可能な限り出店・参加をしていきました。また、グループホームでは、宿泊・日帰り等の旅行などの行事を開催し、利用者交流を図りました。

6 研修

新人職員研修を12月に実施し、法人の沿革、課題、サービス各業務への理解を進めました。また1月に全員対象にメンタルヘルス研修を実施し、自らの心の健康について考え、安定・向上させる機会としたほか、初めての試みとして資産運用・投資をテーマとした研修を2月に実施しました。そのほかオンライン研修、派遣研修などに、各事業所、法人事務局から積極的に参加することができました。また、サービス管理責任者養成研修に該当者の参加を得ることができました。

7 広報

法人広報を夏、冬に発行し、保護者、地域に配布いたしました。

2023年度ハートランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

6月でこれまで勤めていただいた非常勤の看護師が退職となったため、看護師紹介所に7月からの派遣を依頼しました。新しい看護師のもと、今まで行えていなかった爪切り・耳かきを実施するとともに、バイタルデータについてもグラフ化し目で見て分かる形で定期的にご本人ご家族へ報告できるよう、次年度に向けて取り組みを開始しています。

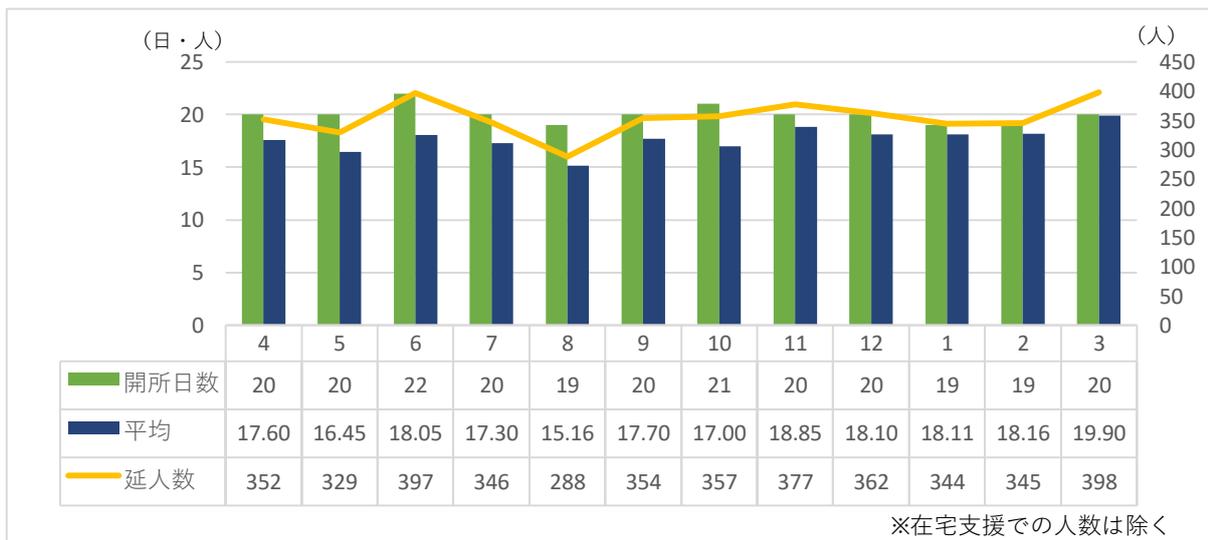
受注作業に関して、特に夏場の屋外での清掃業務は猛暑により過酷を極めています。携わるとご利用者の年齢も高く、安全に作業を継続することが今後は厳しいと判断し、次年度はお断りをする事となりました。

ご利用者に関して、2名の退所者やその他通所日数減の方が出ておりますが、それぞれのライフステージにおいて、ご利用者本人やその方に関わる各機関と密に連携して前向きに取り組んだ結果であったことから、その方にとっての良い変化となりました。一方で定員割れとなったところを埋められるように動くことが出来なかったところもあったと理解しています。

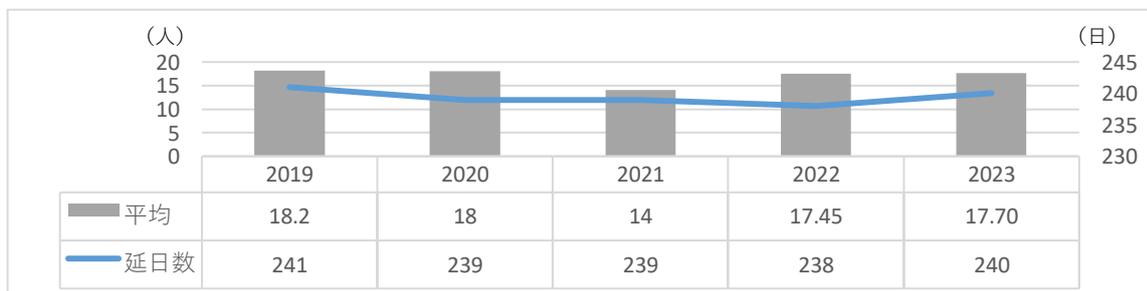
職員研修について、今年度は非常勤の方にも回数としては少ないですが外部研修に参加していただく機会を設けました。常勤についても日頃の業務の向上に役立てられるよう、できる限り多く外に出て学ぶ機会を作りました。

II 事業関係 実施期間 2023年4月1日から2024年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日 通所者平均 17.70 人



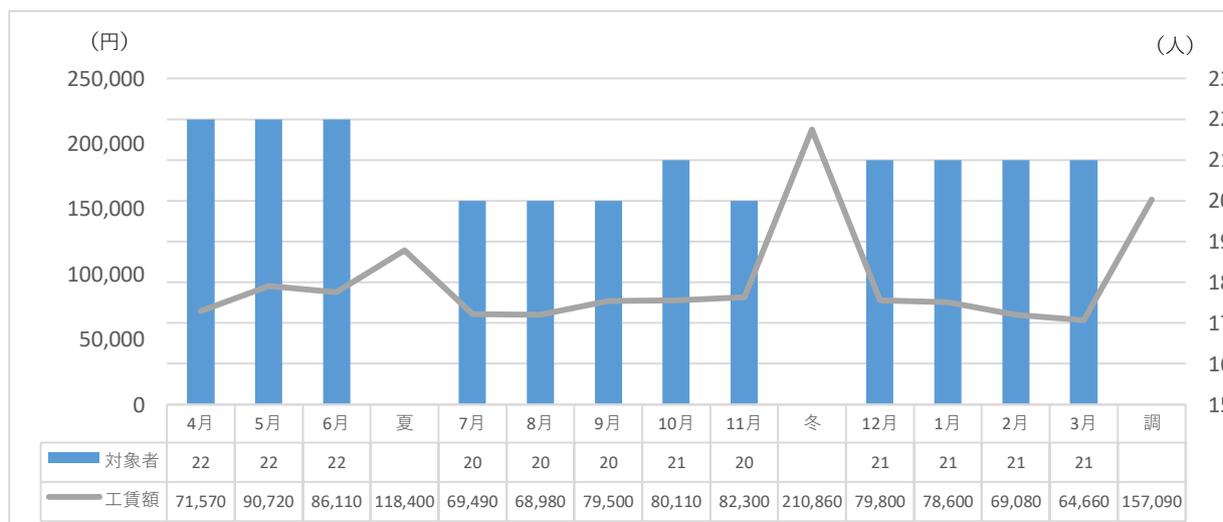
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む） ※大々的な行事以外も記載

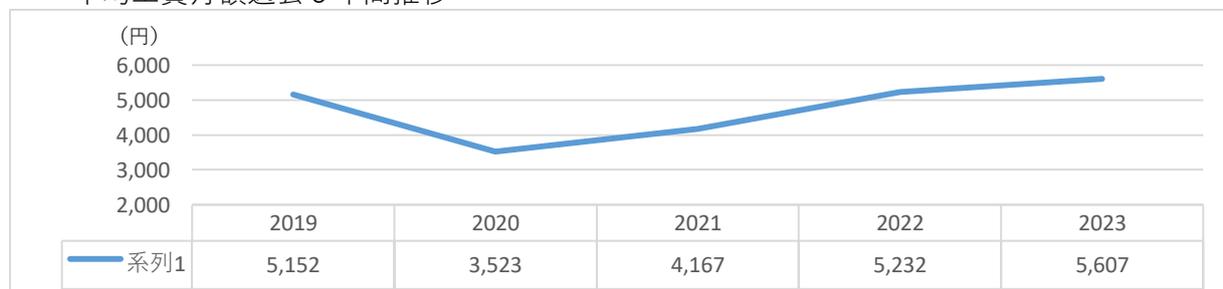
| | 行事内容 | 休日開所日・回数 | |
|-----|-------------------|----------|---|
| 4月 | 孝道山お花見 | | 回 |
| 5月 | | | 回 |
| 6月 | こもれびカフェ | | 回 |
| 7月 | 日帰りバス旅行 | | 回 |
| 8月 | ふれあい作品展 | | 回 |
| 9月 | | | 回 |
| 10月 | | | 回 |
| 11月 | | | 回 |
| 12月 | ダンス&ポッチャ体験、クリスマス会 | | 回 |
| 1月 | 初詣 | | 回 |
| 2月 | | | 回 |
| 3月 | 年度末食事会 | | 回 |

3 工賃支給額 平均工賃額 5,607 円 工賃総額 1,407,270 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : メール便配達、アクセサリパーツ封入・製作 他
- ② 自主製品 : 革製品、ビーズ製品他
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : 区役所、ともしびショップ、三ツ沢・片倉ケアプラザ、
のげのちかみち、など
- ④ 委託作業 : 片倉町バス停清掃・鶴屋町清掃・金港町清掃

5 利用者関係 ※2024年3月31日付

入所 1名

退所 2名

定員 20名

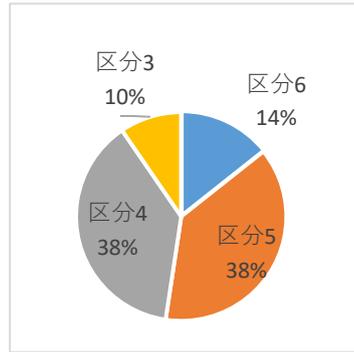
現員 21名

平均年齢 47歳

支援区分

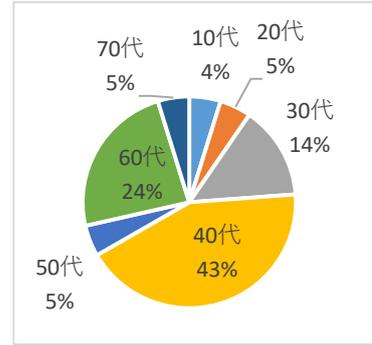
| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 区分6 | 1 | 2 | 3 |
| 区分5 | 7 | 1 | 8 |
| 区分4 | 7 | 1 | 8 |
| 区分3 | 1 | 1 | 2 |
| 区分2 | 0 | 0 | 0 |

平均区分 4.57



年齢

| | |
|-----|---|
| 10代 | 1 |
| 20代 | 1 |
| 30代 | 3 |
| 40代 | 9 |
| 50代 | 1 |
| 60代 | 5 |
| 70代 | 1 |



ヒヤリハット報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

件数 7件

| 内容 | 件数 | 主な内容 | 対応・改善点 |
|-----|----|-------------|----------------|
| ケガ | 1 | 他害によるケガ(未遂) | 複数名での対応 |
| 飲食 | 3 | 食数ミス | 複数名での確認・修正の徹底 |
| 薬 | 0 | | |
| 転倒 | 0 | | |
| その他 | 3 | 紛失(未遂)・施錠忘れ | 複数名での確認・指さし確認等 |



6 職員関係

| 職員配置 | 常勤 | 有期 | 備考 |
|-----------|----|----|--------------------|
| 管理者 | 1 | | |
| サービス管理責任者 | 1 | | 管理者兼務 |
| 生活支援員 | 3 | 3 | |
| 看護師 | | 1 | 7月より笹島看護師家政婦紹介所に依頼 |

採用 名

退職 2名 非常勤看護師(7月)、下記女性常勤職員(11月)

異動 1名 事務所より女性常勤(10月)

研修実績 延 27名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

- 主な研修
- ・記録
 - ・リスクマネジメント
 - ・援助技術
 - ・人材育成
 - ・福祉職員キャリアパス研修
 - ・きょうされん全国大会
 - ・制度
 - ・会計基礎
 - ・法人内研修(新人・中堅)
 - ・虐待防止及び身体拘束に関する研修…など

Ⅲ 2023年度事業を振り返って

1. 利用者支援

- ・余暇活動の充実については2023年度中には進めることが出来ませんでした。次年度に向けて計画立案を行うことは出来たので、2024年度に実行していけるようにしていきます。
- ・一泊旅行は実施できませんでしたが、日帰りバス旅行(鉄道博物館)に行くことが出来ました。
- ・自立課題については十分な量を作ることが出来ました。
- ・工賃規定について見直しを行いました。変更には至っていません。2024年7月からの変更を目指しています。
- ・発達障害者支援センターの定期コンサルはご利用者の状況が落ち着いたため2023年度は依頼していません。各ご利用者の相談員や、基幹相談、担当ワーカー等との連携を意識しながら日々の支援を行いました。

2. 地域交流

- ・沢渡ケアプラザ協力のもと地域の方との交流をはかり(6月・12月)、委託販売も継続して協力いただきました。
- ・区作連や市作連、自立支援協議会などを通じて情報共有や連携を図った。

3. 危機管理・環境整備

- ・個室が必要なご利用者のため、パーティションで個室を作成し、安心して過ごすことの出る環境を整えた。
- ・備蓄品の見直しを行い、非常食については消費サイクルを踏まえた購入計画を立てました。

4. 人材配置・研修計画

- ・人員の確保のため採用面接等実施していますが、採用までには至りませんでした。
- ・年間での研修計画を立て、常勤だけでなく非常勤職員においても外部研修に参加してもらうようにしました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・2023年4月より1名のご利用者が入所しました。一方で、長期で利用を見合わせていたご利用者が1名、2024.02に正式に退所することとなりました。また、ご家庭の環境の難しさから1名のご利用者が緊急で保護を受け、地域移行は目指すものの一度入所施設へ本入所することとなり、同じく2024.02にハートランドを退所しています。
- ・7月より近隣地域在住のご利用者を対象に、希望者の車送迎を開始しました。

6. その他

指定更新を行いました(2024.1.1~2029.12.31)。

2023年度トロワランド事業報告（生活介護事業）

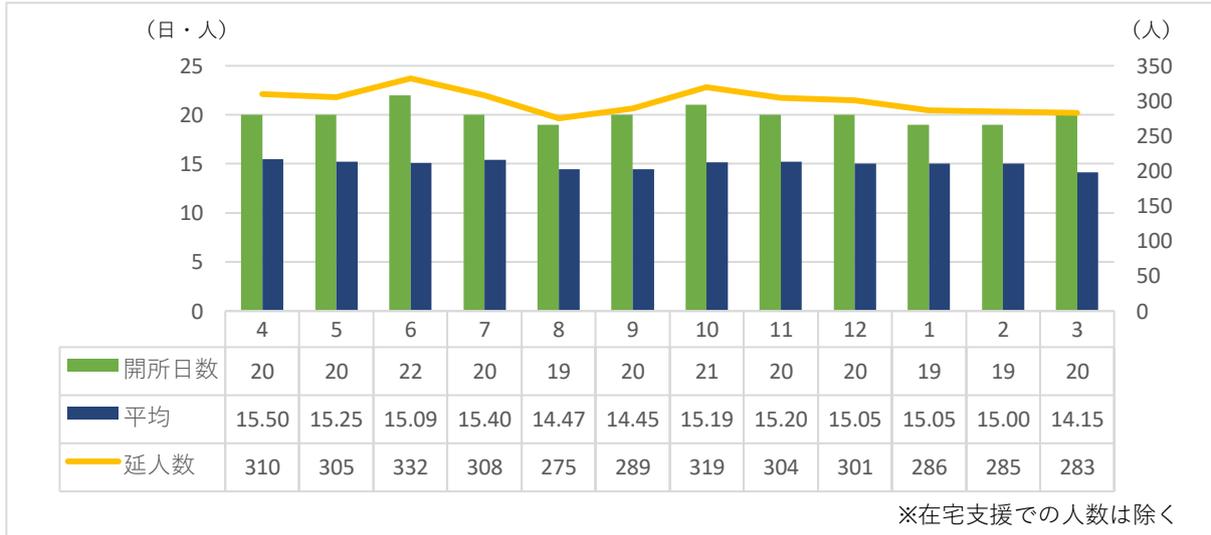
I 事業概況

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、地域のお祭りなども再開され、日常がほぼ戻ってきたと言える年度となりました。作業に関しては、新たに団地清掃の仕事を受注し、以前からのペン、部品作業やふきん、ジャッキーなど自主製品の製作販売、プール清掃等、年間安定して仕事に取り組むことができました。法人の他の事業所と協調し、開所対応とは至らなかったものの、地域・企業のイベントなどに積極的に出店、地域交流の一環とするとともに、販売も好調で、自主製品の売り上げは概ねコロナ以前の水準まで回復しました。

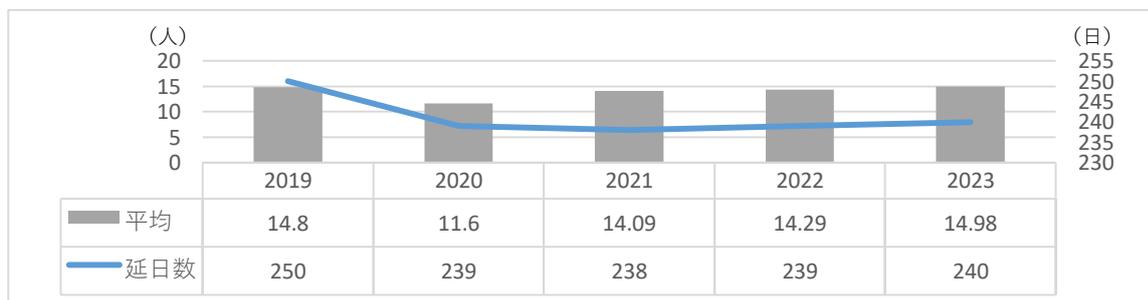
10月には、支援学校を卒業する予定の生徒を実習生として1名受け入れ、本年4月の入所に結びつきました。また、3月に長年ご利用いただいた利用者1名は、年齢の関係から退所され別のサービス利用へと移行されました。職員体制では、4月に管理者交代があり、運営、支援面での不安があったものの概ね順調に推移するなか、10月に非常勤職員1名を常勤に任用し、非常勤職員を新たに1名を採用するなど体制の強化も図っていきました。年度末には、新型コロナウイルス感染が流行し、複数の利用者・職員が療養・自宅待機となり、注意の必要性を再度認識することとなりましたが、年間を通じて大きな事件・事故等もなく安定運営が図られました。

II 事業関係 実施期間 2023年4月1日から2024年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日 通所者平均 14.98 人



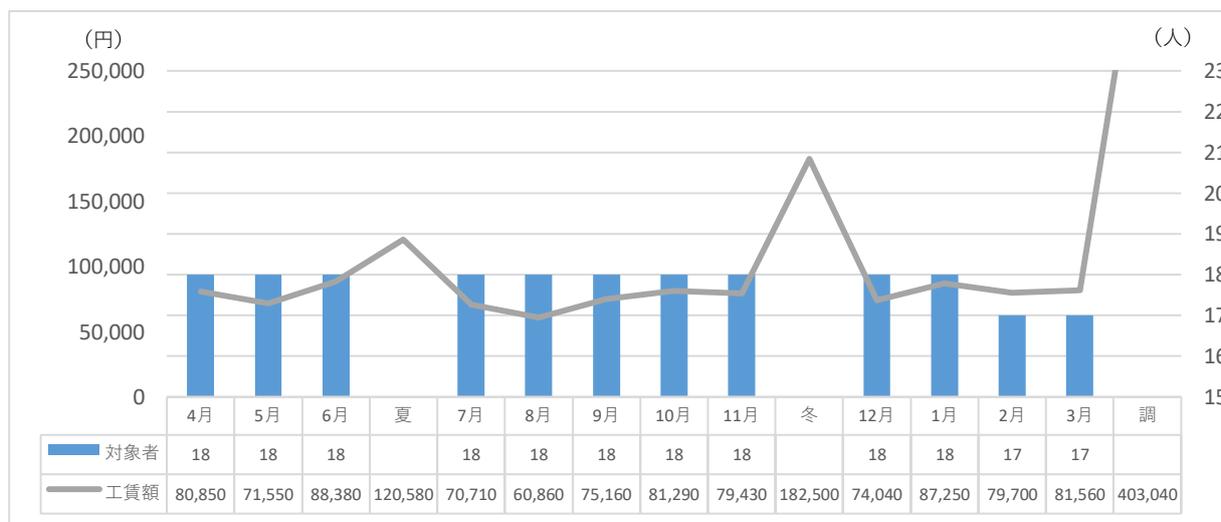
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

| | 行事内容 | 休日開所日・回数 | |
|-----|-------------------------|----------|---|
| 4月 | | | 回 |
| 5月 | 馬車道まつり出店 | | 回 |
| 6月 | | | 回 |
| 7月 | | | 回 |
| 8月 | 三ツ沢地区納涼祭出店、法人映画主催会参加 | | 回 |
| 9月 | | | 回 |
| 10月 | 区民祭り出店、馬車道まつり出店、地区社協まつり | | 回 |
| 11月 | | | 回 |
| 12月 | ケアプラザボッチャ大会参加、クリスマス会 | | 回 |
| 1月 | | | 回 |
| 2月 | | | 回 |
| 3月 | 年度末食事会、お別れ会 | | 回 |

3 工賃支給額 平均工賃額 7,649 円 工賃総額 1,636,900 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 ： ペン、電子部品の組立、団地清掃 他
- ② 自主製品 ： 犬用ジャーキー、絞り染め製品、他
- ③ 販売活動 ： 野菜・自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 ： トロワワゴン、地域ケアプラザ、地域まつり会場他
- ④ 委託作業 ： 学校プール清掃（市教育委員会）

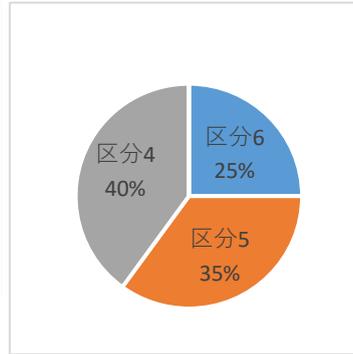
5 利用者関係 ※2024年3月31日現在

入所 0名
 退所 1名
 定員 20名 現員 20名 平均年齢 36歳

支援区分

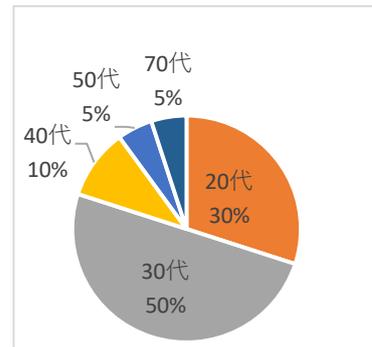
| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 区分6 | 4 | 1 | 5 |
| 区分5 | 5 | 2 | 7 |
| 区分4 | 5 | 3 | 8 |
| 区分3 | 0 | 0 | 0 |
| 区分2 | 0 | 0 | 0 |

平均区分 4.85



年齢

| | |
|-----|----|
| 10代 | |
| 20代 | 6 |
| 30代 | 10 |
| 40代 | 2 |
| 50代 | 1 |
| 60代 | |
| 70代 | 1 |



ヒヤリハット報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで 延件数 10件

| 内容 | 件数 | 主な内容 | 対応・改善点 |
|-----|----|---------------|-----------------|
| ケガ | 3 | 転倒、衝突の恐れ | 利用者の行動に注意 |
| 飲食 | | | |
| 薬 | | | |
| 作業 | 4 | 利用者の作業ミス、指示ミス | 複数の職員で確認を行う |
| その他 | 3 | 一時的な行方不明 | 迎えの確認、同行時目を離さない |



6 職員関係

| 職員配置 | 常勤 | 有期 | 備考 |
|-----------|----|----|------------------|
| 管理者 | 1 | | (法人本部と兼務) |
| サービス管理責任者 | 1 | | |
| 生活支援員 | 3 | 3 | 有期職員を1名年度途中で常勤登用 |
| 看護師 | | 1 | |
| 調理員 | | 1 | 生活支援員兼務 |

採用 1名 非常勤職員女性1名
 退職 0名
 異動 0名

研修実績 延 29名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修

- ・法人研修 対象新人（法人概要、個人情報保護）・全員（メンタルヘルス）
- ・きょうされん全国大会
- ・サービス管理責任者研修・強度行動障害研修、食品衛生責任者講習会

III 2023年度事業を振り返って

1. 利用者への支援

・新型コロナウイルス感染症拡大防止と並行して、健康増進の観点から散歩、野菜配達など外出の機会を設け、身体を動かす取り組み支援を進めました。災害時の対応に教訓を残すきょうされん映画の合同鑑賞会、ケアプラザでの合同のボッチャ・ダンス講習会などの取り組みに参加しました。

・嘱託医へコロナ、インフルエンザの感染動向、感染予防やてんかん発作のある方への対応、肥満、高血圧の対策などについて相談しました。

・週1回サビ管の主導による支援会議を開催し、個々の状況について共有し、課題の認識と対応を進めていきました。

・自主製品もほぼコロナ以前に回復し、新たに清掃作業なども取り入れ、平均工賃月額は前年度を上回ることができました。

2. 地域交流

・地域の行事は復活し、祭りなどへの出店のお誘いが増え、コロナ以前の水準まで戻っています。開所対応し利用者参加については可否を次年度検討していきます。

・作業所連絡会へZOOMで参加したり、区民祭りへの参加をするなど地域作業所交流は継続しています。

・神大寺小学校へ地域作業所のことを知ってもらうため授業を行い、あわせて児童が作業所を見学しました。

・横浜国立大学アグリッジプロジェクトとの協働は、運営・体制面から休止しております。

3. 危機管理環境整備

・消防訓練を9月に実施いたしました。（3月はコロナ感染流行のため中止）

・所内の整理整頓を進めました。

4. 人材配置・研修計画

・非常勤職員1名を常勤へ採用しました。非常勤職員1名を採用しました。

・きょうされん全国大会に1名派遣し、法人内研修、区作連研修、基幹相談支援センター主催研修へ参加しました。

・サビ管基礎研修（1名）・実践研修（1名）、強度行動障害支援者養成研修（1名）食品衛生責任者研修（1名）を対象職員が受講し、運営体制の強化を進めました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

・きょうされんカウネットで割引率の高い物品を調達するなど、経費節減に努めました。利用に結び付く可能性のある、今後支援学校を卒業する生徒の見学・実習を積極的に受け入れました。

2023年度ネバーランド事業報告（就労継続支援B型事業）

I 事業概況

2023年度は下火にはなりましたが新型コロナウイルス感染者も出、またインフルエンザ感染者も出て、コロナ禍同様の衛生管理を行ないました。

管理者が交代し非常勤職員2名退職からのスタートとなり、環境の変化がご利用者にごどのような影響を与えるか心配をしておりましたが、比較的早い段階でご利用者も順応されました。職員の補充も順調に行なえ、中盤から職員の負担も軽減されました。

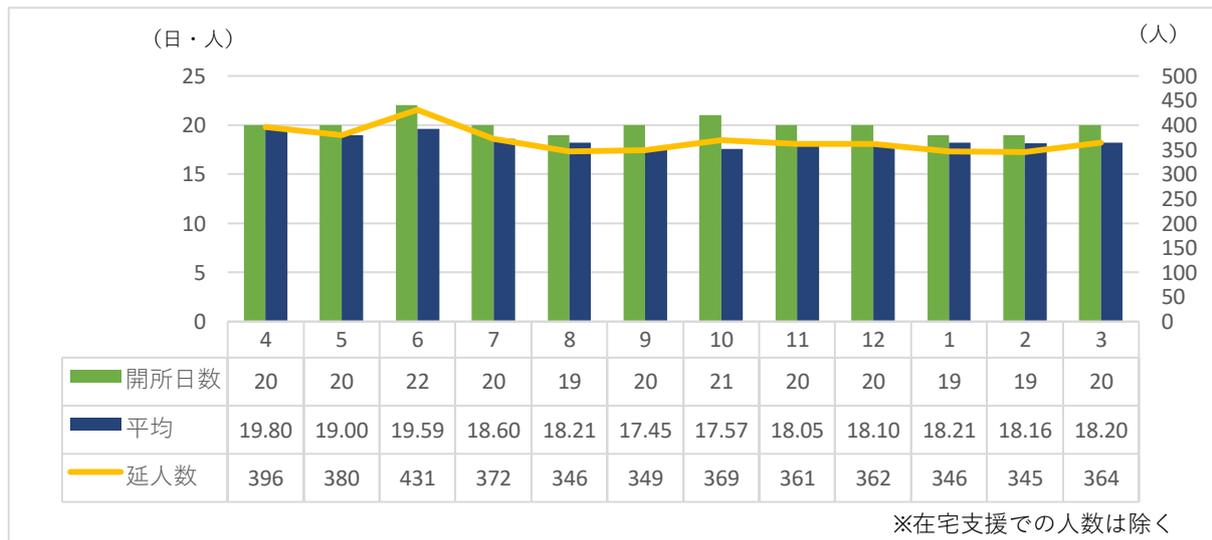
社会福祉士養成実習のため5名の大学生の受け入れを行ない、慣れない方がいる環境の受け入れも出来るようになったと感じます。

2022年度からの動きになりますが、きょうされん主催「全国グッズデザインコンクール」に応募された作品が受賞し、冬カタログの製品「スケジュール帳」に採用されました。全国グッズデザインコンクールでの受賞は法人初となります。

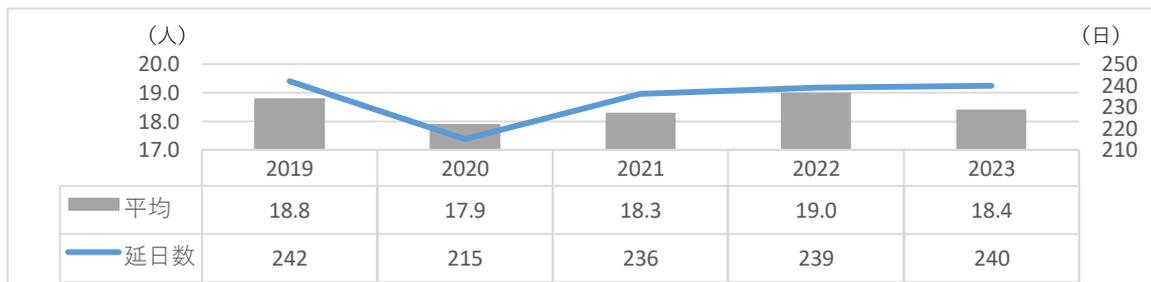
町会の祭りや販売会など復調し、販売の機会を得ることが出来、またプール掃除や臨時の公園清掃を請け負ったため就労収入が上がり、平均工賃月額が過去最高となりました。ただ、かなり無理をした感も否めず、2024年度は負担の無い範囲での生産活動を行なう予定です。

II 事業関係 実施期間 2023年4月1日から2024年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日 通所者平均 18.42 人



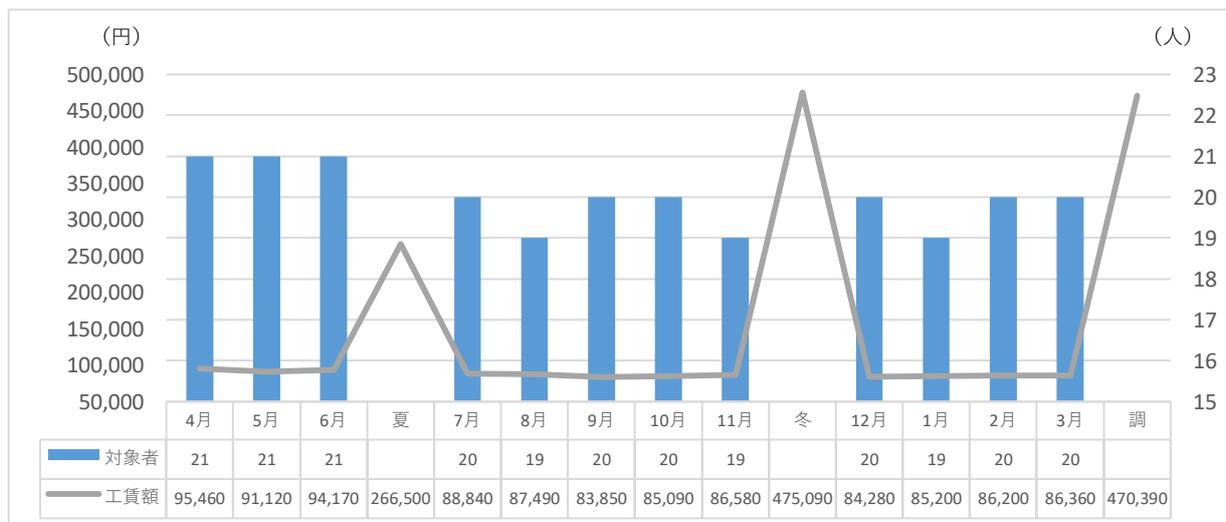
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

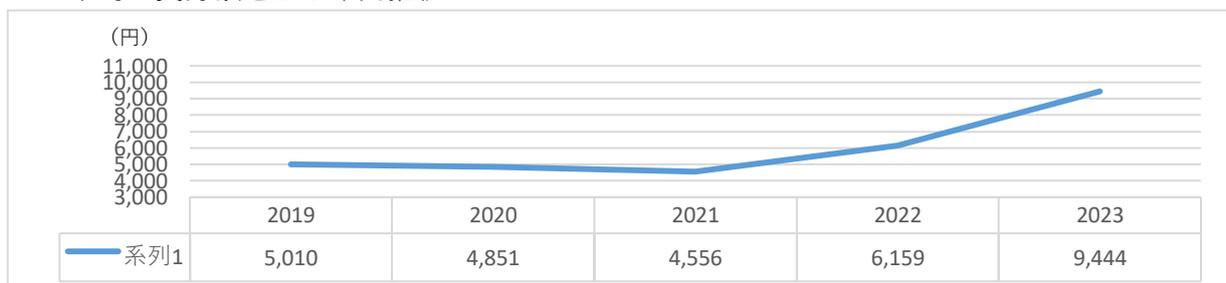
| | 事内容 | 休日開所日・回数 |
|-----|-----------------------|----------|
| 4月 | | 0回 |
| 5月 | 馬車道まつり | 0回 |
| 6月 | 洲崎まつり | 0回 |
| 7月 | | 0回 |
| 8月 | 映画鑑賞/きょうされん全国大会/上町納涼祭 | 0回 |
| 9月 | | 0回 |
| 10月 | ふくしま祭り/区民DAY/馬車道まつり | 0回 |
| 11月 | | 0回 |
| 12月 | 沢渡ポッチャ・ダンス/クリスマス会 | 0回 |
| 1月 | | 0回 |
| 2月 | | 0回 |
| 3月 | 送別会（お茶会） | 0回 |

3 工賃支給額 平均工賃額 9,444 円 工賃総額 2,266,620 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : 廃油ろ過材縫製
- ② 自主製品 : 菓子、餃子製造・知育玩具等の手芸品・古紙回収
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売、各種祭販売
販売場所 : ネバーランドカフェ、受注生産、こそあどぐるん委託販売
神奈川区役所売店、地域ケアプラ、ともしびショップ
- ④ 委託作業 : 横浜市委託公園掃除、プール清掃

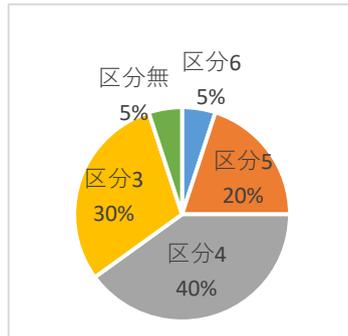
5 利用者関係 ※2024年3月31日付

入所 0名
 退所 1名
 定員 20名 現員 20名 平均年齢 39歳

支援区分

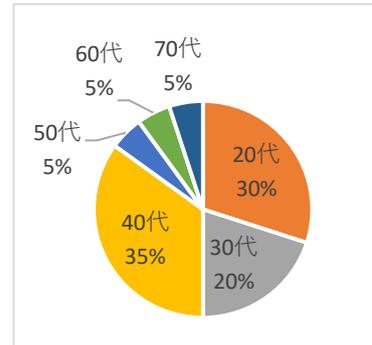
| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 区分6 | 0 | 1 | 1 |
| 区分5 | 3 | 1 | 4 |
| 区分4 | 7 | 1 | 8 |
| 区分3 | 3 | 3 | 6 |
| 区分2 | 0 | 0 | 0 |
| 区分無 | 1 | 0 | 1 |

平均区分 3.8



年齢

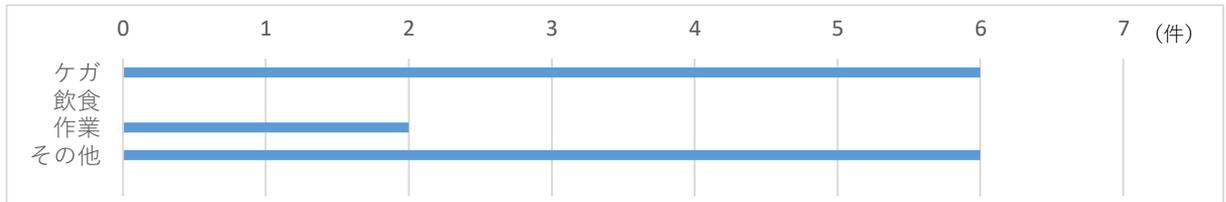
| | |
|-----|---|
| 10代 | 0 |
| 20代 | 6 |
| 30代 | 4 |
| 40代 | 7 |
| 50代 | 1 |
| 60代 | 1 |
| 70代 | 1 |



ヒヤリハット報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで 件数 14件

| 内容 | 件数 | 主な内容 | 対応・改善点 |
|-----|----|------------|-------------------|
| ケガ | 6 | 車のドアに手を挟む | 職員が確認をし、ドアを閉める |
| 飲食 | | | |
| 作業 | 2 | 食品に異物（髪）混入 | 手順を見直し帽子を新調 |
| その他 | 6 | 火災報知器作動 | 換気扇を必ずつけ、こまめな火力調節 |



6 職員関係

| 職員配置 | 常勤 | 有期 | 備考 |
|-----------|----|----|-------|
| 管理者 | 1 | | |
| サービス管理責任者 | 1 | | 管理者兼務 |
| 職業指導員 | 1 | | |
| 生活支援員 | 1 | 3 | |
| 目標工賃達成指導員 | 1 | | |

採用 2名 非常勤職員 女性1 男性1

退職 0名

異動 1名 常勤管理者 T→N

研修実績 延 30名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・法人内研修

・区作連、市作連、自立支援協議会

・食品衛生、サビ菅補足

III 2023年度事業を振り返って

1.利用者への支援

- ・新規自主製品活動：菓子製造ではパッケージの変更や新しい味を加えるなど、購買意欲を高める製品作りに取り組みました。手芸では季節に合わせた製品にも取り組みました。
- ・健康面：感染拡大対策を行いながら日々事業所内や事業所前などで筋トレや自転車、ネわ跳びなどの体を動かす活動に取り組みました。
- ・支援の輪作り：計画相談やC W等関係機関、発達障害者支援センターとも連携をとり支援を行いました。

2.地域交流

- ・カフェ「PPAINESS」を運営。常連の方も増え、徐々に周知が広がっていると感じます。
- ・古紙回収：近隣店舗の回収を継続。口コミで広がりを見せています。

3.危機管理環境整備

- ・虐待防止防災時対策等：法人で虐待防止委員会の発足、BCPの整備も行われました。
- ・災害備蓄品の見直し、避難訓練を行ないました。

4.人材配置・研修計画

- ・職員を雇用し手厚い支援体制及び職員にも負担のない運営が出来るようになりました。
- ・前半職員体制が手薄だったこともあり外部への研修参加が難しい状況でした。後半少なくともありますが参加することが出来ました。

5.経費の効率化・運営収入の確保

- ・1名年度途中の退所者があり収入の減少がありました。
- ・人件費に関しては今後生活介護への変更があるため現時点では過剰ではありますが、先を見据えての配置となっております。
- ・大学生の実習生5名受け入れ、実習費用の収入を得るとともに法人の存在を周知できたと思われれます。

6.その他

- ・今年度管理者や職員が変わりご利用者への影響が心配されましたが、早い段階でご利用者も慣れることができていました。また、初めて大学生実習生の受け入れもありましたが順応することが出来ました。
- ・指定更新を行ないました。（2024.1.1～2029.12.31）
- ・2024年度に生活介護への事業変更を行なうための調整を行いました。

2023年度 共同生活援助事業報告

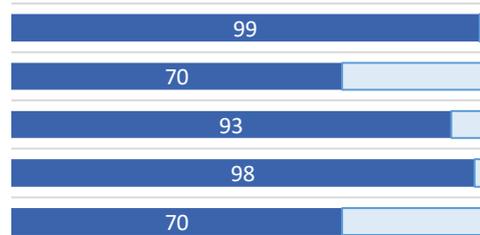
I 事業概況報告

- 1、新型コロナウイルス感染症について、社会情勢にあわせ、複数回に渡り入居者・保護者に説明と協力をお願いをいたしました。
- 2、新型コロナウイルス感染症が5月より5類に緩和されたが、思うように外出できない状況の中、利用者のストレス軽減のため余暇活動支援をおこないました。
- 3、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を利用者の状況や意向に合わせて推進をし、申請、付き添いなどの支援をおこないました。
- 4、新型コロナウイルス感染症に感染した利用者の介護に、24時間体制の対応をおこないました。
- 5、今人の移転委員会で、数回にわたり検討協議をおこないました。
- 6、今人移転を12月2日に実施いたしました。

II 事業関係 事業期間 2023年4月1日～2024年3月31日

1 利用実績

| | 性別 | 定員 | 稼働率 |
|-------|----|----|-----|
| れいんぼう | 男 | 8名 | 99% |
| はッピー | 女 | 8名 | 70% |
| 今人 | 男 | 6名 | 93% |
| 銀河 | 男 | 6名 | 98% |
| 第二銀河 | 男 | 6名 | 70% |



2 行事報告 (参加者数には支援者及びボランティアは含まない)

| 月 | 行事内容 | 参加者数 | | | | | 計 |
|-----|-----------|------|---|---|---|---|-----|
| | | れ | は | 今 | 銀 | 2 | |
| 4月 | | | | | | | 0名 |
| 5月 | GH合同食事会 | 8 | 4 | 6 | 4 | 4 | 26名 |
| 6月 | | | | | | | 0名 |
| 7月 | | | | | | | 0名 |
| 8月 | | | | | | | 0名 |
| 9月 | 日帰り旅行 | 8 | 5 | 5 | 6 | 4 | 28名 |
| 10月 | | | | | | | 0名 |
| 11月 | | | | | | | 0名 |
| 12月 | クリスマス&忘年会 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 33名 |
| 1月 | | | | | | | 0名 |
| 2月 | | 8 | 7 | 5 | 6 | 5 | 31名 |
| 3月 | 利用者部会 | 8 | 7 | 6 | 6 | 5 | 32名 |

3 各ホーム外出行事

| 活動名 | れ | は | 今 | 銀 | 2 | 計 |
|-------------|---|---|---|---|---|-----|
| ホーム内食事会 | 8 | 7 | 5 | 6 | 5 | 31名 |
| ホーム内カラオケ大会 | | 7 | | 6 | | 13名 |
| 買い物外出 | 8 | 6 | 5 | 5 | 5 | 29名 |
| ドライブ（公用車にて） | 4 | 4 | 5 | 5 | 6 | 24名 |
| ホーム旅行（伊豆） | | | | 4 | 3 | 7名 |
| ホームBBQ | | | | 5 | 5 | 10名 |
| 花火大会観賞 | | 7 | | 6 | 5 | 18名 |
| | | | | | | 名 |

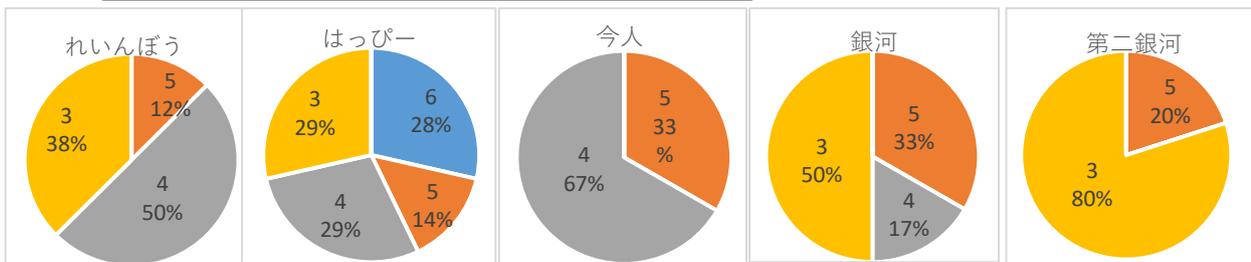
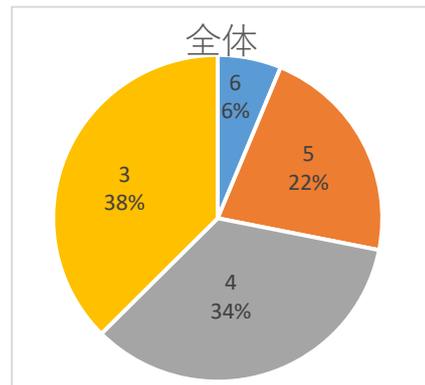
※ホーム内でアルコールを提供する食事会も含む

4 利用者関係 ※2024年3月31日付人員

入所 1名 定員 34名
退所 1名 現員 33名

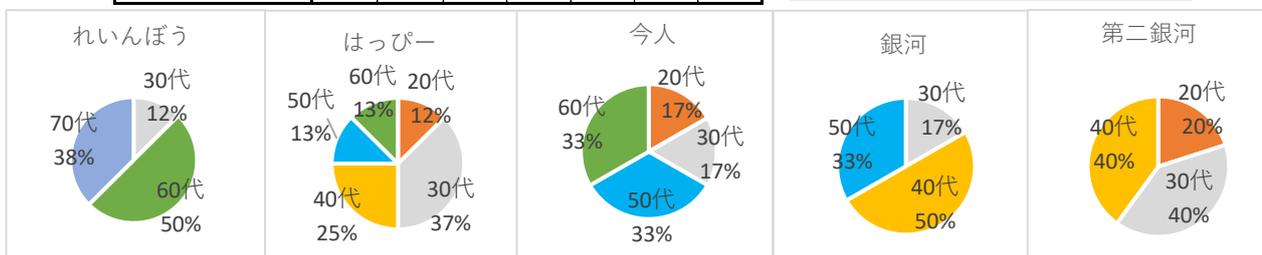
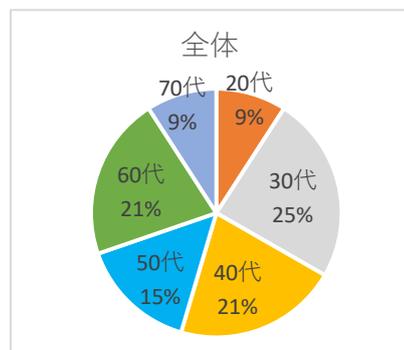
支援区分

| | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無 |
|-------|---|---|----|----|---|---|---|
| れいんぼう | | 1 | 4 | 3 | | | |
| はっぴー | 2 | 1 | 2 | 2 | | | |
| 今人 | | 2 | 4 | | | | |
| 銀河 | | 2 | 1 | 3 | | | |
| 第二銀河 | | 1 | | 4 | | | |
| 合計 | 2 | 7 | 11 | 12 | | | |



年齢割合

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| れいんぼう | | | 1 | | | 4 | 3 |
| はっぴー | | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | |
| 今人 | | 1 | 1 | | 2 | 2 | |
| 銀河 | | | 1 | 3 | 2 | | |
| 第二銀河 | | 1 | 2 | 2 | | | |
| 合計 | | 3 | 8 | 7 | 5 | 7 | 3 |



5 日中活動場所 ※重複通所あり

一般就労 6 名

(株)そごう・西武/損保ジャパン

三洋装備(株)/京急サービス(株)/株金原/サンデリカ町田営業所

通所施設 27 名

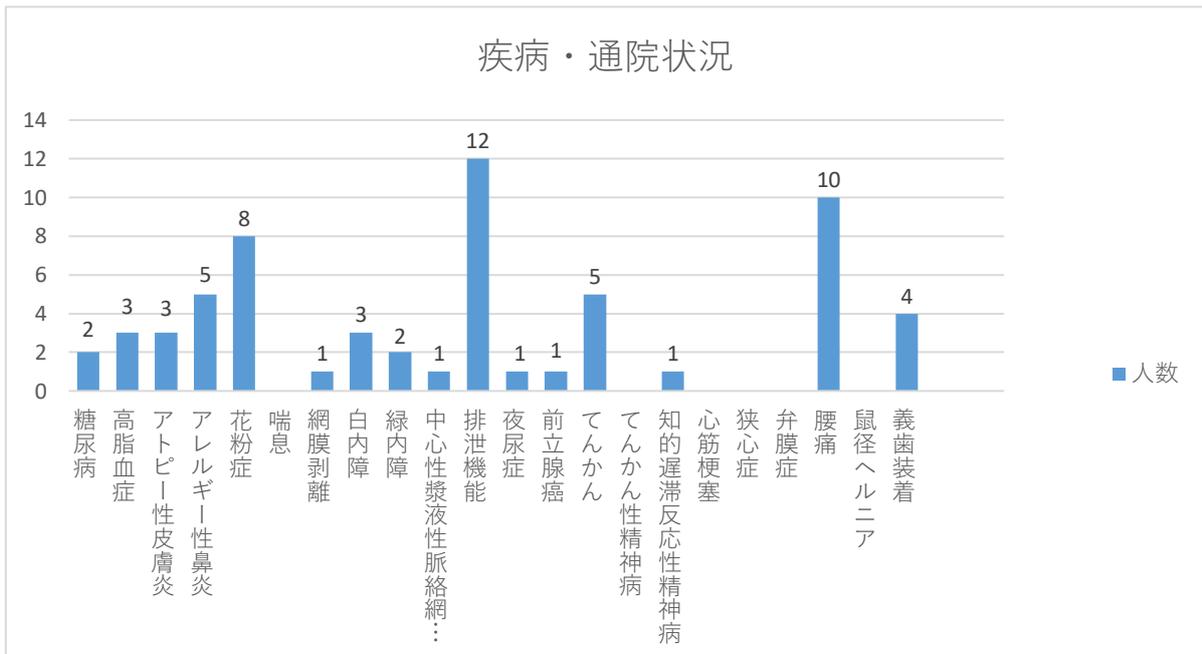
(株)ミライエ製作所、ワークショップ夢21、夢工房4番館、トレジャーボックス、ハートランド、ネバーランド、トロワランド、はばたき、マーキュリー、もくもく、スマイル

高齢者施設 3 名

鍼灸マッサージ 憩 ミツ沢/デイサービス いこい家

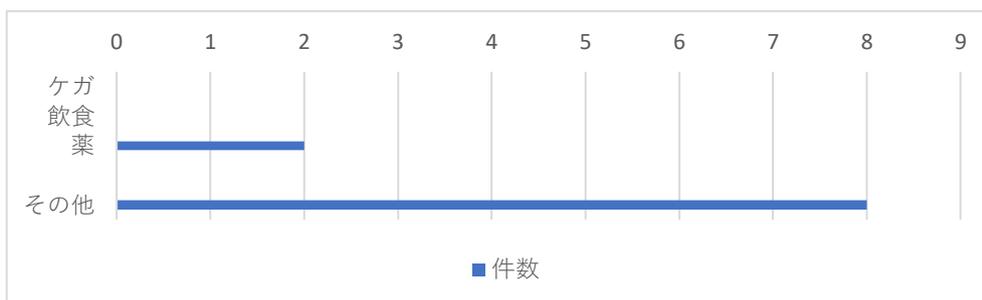
ヒューマンライフライフケア

6 疾病・通院状況



ヒヤリハット報告 件数 0 件

| 内容 | 件数 | 主な内容 | 対応・改善点 |
|-----|----|----------|------------------|
| ケガ | | | |
| 飲食 | | | |
| 薬 | 2 | 飲み残しがあった | 飲み終わるまで見守り支援 |
| その他 | 8 | 転倒（怪我なし） | 転倒しやすい方の行動把握と見守り |



6 職員関係

| 職員配置 | 常勤 | 有期 | 嘱託 | 備考 |
|-----------|----|----|----|----|
| 管理者 | 1名 | 0名 | 0名 | |
| サービス管理責任者 | 2名 | 0名 | 0名 | |
| 世話人 | 7名 | 4名 | 0名 | |
| 生活支援員 | 0名 | 8名 | 7名 | |

| | | |
|----|--------|----|
| 採用 | 有期職員女性 | 1名 |
| | 有期職員男性 | 名 |
| 退職 | 有期職員女性 | 1名 |
| | 有期職員男性 | 名 |

研修実績 延 15名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

- 主な研修 ・新人職員研修
・管理者研修
・中堅職員研修

III 2023年度事業計画を振り返って

- 1 新型コロナウイルス感染症が5類に緩和されましたが、感染症対策等の対応は常に職員間で協議し、意見を交わしながら支援をおこなってきました。
- 2 新型コロナウイルス感染症に利用者が感染し、グループホームでの感染症対策の限界を感じつつも、職員間の連携を密にし利用者の生活の安定に努めました。
- 3 平常時より医療機関との連携が出来ていたことで、感染者が出た時にスピーディーな対応をすることができました（即日PCR検査対応など）。
- 4 介護保険の要介護認定を受け、関係機関を増やす事でサービスの向上や幅を広げるように努め、ライフステージの移行なども含め協議をおこない、移動される利用者が増えつつあります。空床などの課題に対応しながら安定した運営に繋がられるよう努めていきます。
- 5 今人移転については、移転委員会を開催し、検討・協議をおこないました。6月の着工時点でご家族への説明会を行い皆様の意見も取り入れたホームの完成となり、12月2日に移転を完了することが出来ました。引越し前の11月26日（日）には地域の方や日中事業所のご利用者・ご家族を対象にした内覧会を行い、多くの方に新しい今人を見て頂けました。見学に来た方々より是非このホームに入りたいとの声を頂きました。
- 6 空床のあったはっぴーと第2銀河について、コロナ禍でなかなか新規にむずびつかない状況ではございましたが、各区や計画相談事業所とも連携を取り見学や面接、体験など対応してまいりました。はっぴーは2024年5月に新規入居者が決定しており、第2銀河も現在体験中です。

2023年ぐりーんろーど相談室事業報告（特定計画相談事業）

I 事業概況

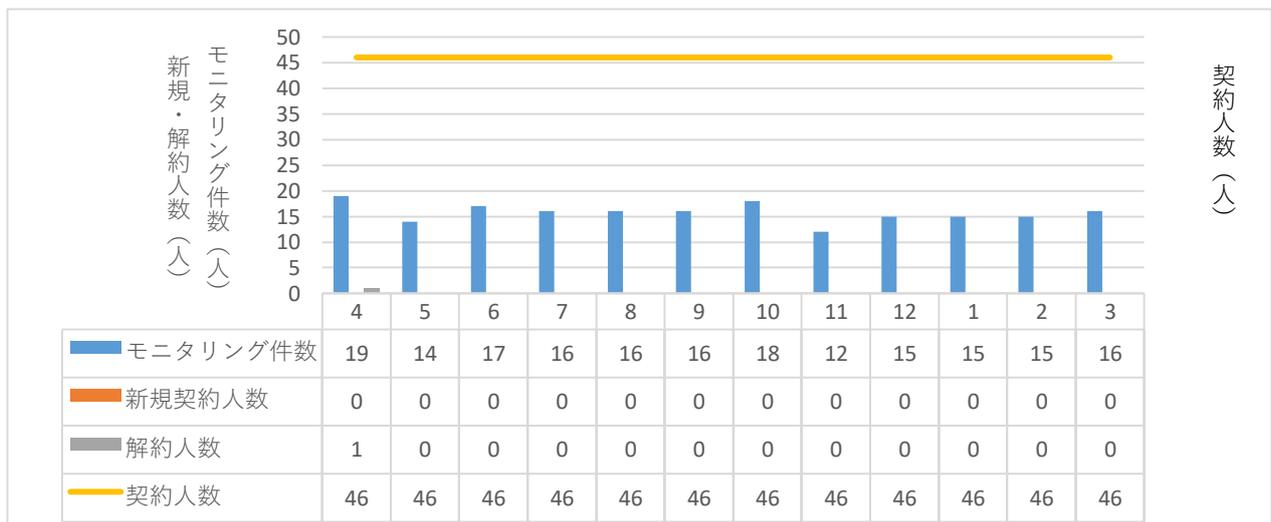
非常勤1名体制となり、毎月の対応に苦慮しつつ、1年間業務を遂行する事が出来ました。実務としては利用者46名という事で月16人平均のモニタリング（計画案作成含む）や施設訪問、見学同行、各会議参加などの業務を行いました。それにより時間的余裕は殆どなく業務以外の研修などの参加はあまり出来ていない状況です。

引き続き業務に関してはサービス利用に関する意向、障害特性や疾病、加齢に伴う本人の心身状況に併せて障害福祉サービス事業者、医療機関、介護保険事業者等との連携をはかり、一人ひとりの特性を考慮したサービス提供へと繋げる様に意識しました。

利用状況においては2022年度末に2名、2023年度は1名の契約解除がありました。今後も利用者の健康状況、高齢化、ご家庭の事情などにより契約状況の変化が出てくると予想します。

II 事業関係 実施期間 2023年4月1日から2024年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 233 日



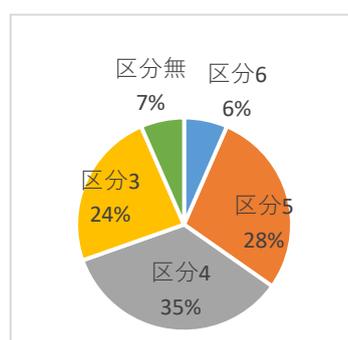
2 利用者関係 ※2024年3月31日付

契約者人数 46 名

平均年齢 42 歳

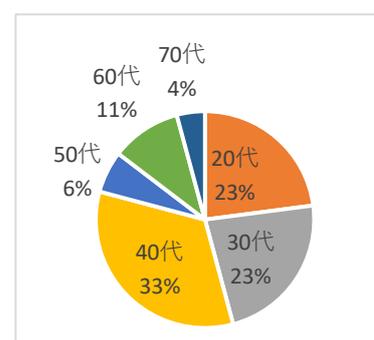
支援区分

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 区分6 | 2 | 1 | 3 |
| 区分5 | 10 | 3 | 13 |
| 区分4 | 15 | 1 | 16 |
| 区分3 | 9 | 2 | 11 |
| 区分2 | 0 | 0 | 0 |
| 区分無 | 2 | 1 | 3 |



年齢

| 年齢 | 人数 |
|-----|----|
| 10代 | 0 |
| 20代 | 11 |
| 30代 | 11 |
| 40代 | 16 |
| 50代 | 3 |
| 60代 | 5 |
| 70代 | 2 |



居住区別（援護の実施機関）内訳 合計 46 名

| | | | | | |
|-------|----|-----|---|------|---|
| 神奈川区 | 23 | 金沢区 | 3 | 栄区 | 2 |
| 保土ヶ谷区 | 2 | 南区 | 2 | 旭区 | 1 |
| 鶴見区 | 2 | 西区 | 2 | 泉区 | 1 |
| 港北区 | 1 | 緑区 | 1 | 都筑区 | 4 |
| 磯子区 | 0 | 港南区 | 1 | 横須賀市 | 1 |

3 職員関係

| 職員配置 | 常勤 | 有期 | 備考 |
|------|----|----|----|
| 管理者 | | 1 | |
| 相談員 | | 1 | |

採用 0 名

退職 0 名

異動 0 名

研修実績 延 2 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・ 自立支援協議会（相談部会）事例研修

・ 自立支援協議会（相談部会）グループワーク研修

III 2023年度事業を振り返って

- ・ 一人体制になった為、スケジュール管理、事務管理を念入りにし、取り残しが出ぬ様に努めました。
- ・ 自立支援協議会への参画は、時間が取れずグループワーク研修や事例検討の際、研修を兼ね年2回の出席のみとなりました。
- ・ 移動費、郵送費削減の為、移動の際は同じ方向の事業所はなるべく同日に行い、その都度郵送する書類も手渡しするなどしました。
- ・ 利用者の希望による移管手続きのサポートやアフターフォローとして関係機関と連絡を取り、情報共有、引継ぎ等のサポートを行いました。また、それに伴うケア会議、施設見学等は昨年度より増えています。